

## 令和4年度事業報告

### 1. 概要

日本の高齢者人口がピークを迎える令和22年頃を見据えますと、本格的な人口減少が進む中で、担い手不足への懸念が指摘される一方、「人生百年」というこれまでに経験したことがない長い人生を生きる時代がやってきます。

また、一昨年以来、我が国を含め全世界で新型コロナウイルス感染症が広がっており、社会・経済活動の停滞により影響が及んでいる雇用や家計に対し、前例のない様々な対策がこれまでにない規模で実施されています。そして、こうした緊急的な対応とは別に、いわゆる「3つの「密」の回避やソーシャル・ディスタンスの確保が求められる中で、私達の日常生活のあり方や働き方も大きく様変わりしています。感染症の収束がまだ見通せない状況の中で、この感染症が今後の社会のあり方にどのような変化をもたらすかについて、現時点で見極めることは難しいが、既に広がっているテレワークを始めとする新たな動きを見ますと、この感染症がもたらす大きな社会の変化が予想されます。

しかしながら、このような社会の変化の中においても、シルバー人材センターの役割は、その地域における高齢者の中核的な活動拠点として、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常に密着した臨時的、短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、働くことを通じて喜びや生きがいの充実、健康維持、また、地域社会の活性化を図っていくことでもあります。

このようなことを踏まえて令和4年度事業計画の基本方針に基づきまして、次のように事業に取り組みました。

### 2. 事業実施報告

#### ① 基本理念の周知徹底及び実行

会員及び役職員が「自主、自立、共働、共助」の基本理念を常に認識していただき、総会、ボランティア活動等への積極的な参加の呼びかけをしました。

#### ② 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業の徹底については、シルバー事業の最優先課題と位置づけ、安全・適正就業委員による、就業現場のパトロールを令和4年度は2回実施いたしました。その内の1回は県の連合会の担当職員も同行してもらい、適切な助言や指導をして頂き、会員の安全意識の向上にも繋がりました。

#### ③ サポート事業並びに派遣事業の推進

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業では、全戸配布している広報誌「シルバーたるみず」が定着し、又、年度初めのチラシ等による周知が進みました。又、例年であれば、業務推進委員による個別訪問をしておりましたが、本年も新型コロナウイルスの影響でできませんでした。

(2) 労働者派遣事業の推進について、事業所のニーズの把握に努め、事業導入に努めました。又請負業務から派遣業務への見直しを、派遣業務の適正化に努めました。

④ 保育・福祉・家事援助サービス事業の推進

(1) 子育て支援事業、児童クラブの質の向上と充実を進め、会員の方々も積極的に講習や研修会等に参加して頂き資格の取得に努めて頂きました。

(2) 地域サービス事業では、高齢者が高齢者を支える観点から重要な事業であります。令和4年度も新型コロナウイルスの影響で十分な事業展開ができませんでした。行政と連携して、引続き、情報の収集や相談を行ってまいります。

⑤ 垂水あぐりファーム事業

平成29年度より新規事業として遊休地を活用し、あぐり事業を展開し会員の就業機会の拡大を図ってまいりました。馬鈴薯、玉ねぎ、サツマイモ等の作付けを行い、会員各位はもちろん地域住民にも購入していただきました。又児童クラブの児童にも収穫体験を実施し、児童・保護者にも大変喜ばれました。

今後も、国、県、市、連合会等の関係機関と連携を図り、活力ある地域社会づくりに貢献し、地域から信頼されるシルバー人材センターづくりを目指し、事業運営を推進してまいります。

令和4年度の事業実績の主なものは次のとおりでございます。

	令和4年度	令和3年度	前年度比
会 員 数	174人	173人	1人増
就業実人数	113人 (*152人)	109人 (*147人)	4人増 (年度内に1回以上就業)
就業延人数	14,166人日 (*21,438人日)	11,896人日 (*19,050人日)	2,270人増
就 業 率	64.9% (*87.4%)	63.0% (*85.0%)	1.9%増
契約件数	1,475件 (*1,519件)	1,452件 (*1,473件)	23件増
契約金額	59,799,198円	58,532,675円	1,266,523円増
派遣契約金額	40,787,816円	38,914,209円	1,873,607円増
シルバー事業 派遣事業 合計	100,587,014円	97,446,884円	3,140,130円増

(\*派遣就業会員を合算した数)